

ゴジラスコープの組み立て

1996年7月，1999年7月

1. フレーム（脚立を流用）のラッチをはずして本体を広げ，その位置でラッチを再び固定する。
2. 主鏡の鏡の面が下になるように床に本体を置き，左右の「レグ」を起こして「アングル」で固定する。
3. 「フット」を広げてそのすじかい棒を固定し，「レグ」にはめ込んでネジを締め付ける。
4. 全体を起こして正立させ，見たい方向に向ける。
5. 主鏡固定ネジをゆるめて左右の主鏡を起こし，主鏡固定ロッドで固定する。
6. 接眼鏡固定部の蝶ネジをゆるめておき，接眼鏡ボックスをいっぱいに深く差し込んで蝶ネジをしめる。
7. 接眼鏡から遠方の物体を覗き，左右両眼で自然に一致して見えるように，接眼鏡ボックスのダイヤル（右側の接眼鏡の角度を変える）を調整する。このとき，目をボックスから少し離してやる方が正確に調整できる。

注意

1. たたむときはこの逆の順にします。特に，本体を折り曲げるまえに接眼鏡ボックスを取り外すことを忘れないで下さい。さもないと接眼鏡ボックスの取り付け部分を壊す恐れがあります。
2. 接眼鏡ボックスが正確に取り付けられていないと，左右の目で見た風景が上下にずれたり，片方が斜めに見えたりします。もし正確に取り付けてもこのようない見え方をするときは，**接眼鏡ボックス自体の調整をして下さい**。接眼鏡ボックスのBの部分はAの部分に左右二つのビスsで止められていますが，このビス穴は縦長に開けてあり，Aに対してBを少し回転できます。これによって左右での上下のずれは調整できます。

左右で見た像が互いに傾いているときは，接眼鏡ボックス全体を，左右方向すなわち主鏡どうしを結ぶ直線を軸にして，回転して下さい。つまり，接眼鏡固定部の蝶ネジをゆるめて，左右での像の傾き具合によって接眼鏡ボックスの上部か下部を少し手前に引いて締め直して下さい。

佐賀大学理工学部 豊島耕一
電話 / ファクス 0952-28-8845
e-mail toyo@cc.saga-u.ac.jp
ホームページ pegasus.phys.saga-u.ac.jp